

| | | | | | |
|------|-----|---------------------|----------------------|----|----------------|
| 部課室名 | 砂防課 | 記入責任者職氏名 (担当者氏名) | 砂防課長 森脇 康仁 (木戸 徹) | 内線 | 4459 (4465) |
|------|-----|---------------------|----------------------|----|----------------|

| | | | | | |
|--|---|-----------------------|--|-------------|-------------|
| 事業種目 | 砂防事業 | 事業名 | 事業区間 | 総事業費 | 2.0 億円 |
| | | 通常砂防事業 おいわけ 追分川 | | 内用地補償費 | 0.05 億円 |
| 所在地 | | | 事業採択 予定年度 | 着工予定 年 度 | 完成予定 年 度 |
| たつの市 神岡町 ^{おいわけ} 追分 | | | 19年度 | 19年度 | 22年度 |
| 事業目的 | | | 事業内容 | | |
| 土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、流域の荒廃が進んでおり土砂災害の危険性が高まっているため、えん堤工を設置して地域住民の人命、財産、及び国道29号を保全する。 | | | ・砂防えん堤工 1基 (H = 10.0m, L = 90.0m) 〔負担割合 国:1 / 2、県:1 / 2〕 | | |
| 評価視点 | 評価結果の説明 | | | | |
| (1)必要性 安全・安心 | <ul style="list-style-type: none"> ・追分川は土石流危険渓流である。 ・平成16年9月の台風21号により、溪岸の浸食が進むなど流域内も広範囲に荒廃しているが、砂防設備は未整備である。 ・流域状況は溪流勾配が約1 / 5と急で溪岸の浸食が激しく土石流発生の危険性が高い。 ・保全対象: 人家 = 7戸、公共施設 = 国道29号、その他 = 工場2棟(従業員数56名) | | | | |
| 地域の活性化 | <ul style="list-style-type: none"> ・砂防えん堤工事により土砂災害の危険性が軽減され、地域の主要な道路であり、第一次緊急輸送道路である国道29号を保全することにより、地域間の交流に一層寄与する。 ・地域の産業である工場2棟を保全することにより、地域の活性化に寄与する。 | | | | |
| 快適性・ゆとり | <ul style="list-style-type: none"> ・えん堤設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより、下流域の住民に安全で快適な生活空間を提供する。 | | | | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・地元の土砂災害に対する認識度も高く、事業化への要望が強い。 | | | | |
| (2)有効性・効率性 有効性 | <ul style="list-style-type: none"> ・人命・財産(人家7戸)、国道29号が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。 | | | | |
| 効率性 | <ul style="list-style-type: none"> ・市等の協力体制が整っており、円滑な事業執行が可能である。 | | | | |
| (3)環境適合性 | <ul style="list-style-type: none"> ・国道等からの視認性を考慮し、化粧型枠等により周辺景観に配慮する。また、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。 | | | | |
| (4)優先性 | <ul style="list-style-type: none"> ・土石流の想定被害区域には人家7戸、国道29号、工場2棟がある。 ・流域状況は平成16年9月の台風21号により、流域の荒廃が進み、今後も土砂流出の危険性が高く、追分地区の人命・財産等を保全するため早急な対策が必要である。 | | | | |